

四国支部 令和3年度事業方針

～四国地域の省エネ活動を支援する省エネセンター四国支部～

1. 基本方針

昨年来、新型コロナウイルス感染症の影響は依然として深刻な状況にありますが、このような状況にあっても、地球温暖化防止に向け、真剣な対応が求められ、我が国においても2050年までに「カーボンニュートラル（脱炭素）」を表明し、不退転の覚悟を示しました。

当センターにおいても、エネルギー利用の合理化を目的とする「省エネ」を中心に活動を進め、CO2の発生を抑制する「低炭素」に貢献してきました。

しかしながら、今後は「脱炭素」を目指し、「より低炭素なエネルギー」さらには「非化石エネルギー」への転換を図るという視点が重要になってきます。

こうした状況を踏まえ、当支部においては四国地域における省エネ推進の中核機関として国や地方公共団体のご指導のもと、賛助会員、関係各位のご協力をいただきながら、以下のとおり、各分野における更なる省エネルギー対策の推進に努めてまいります。

2. 具体的事業展開

I. 包括的な省エネに向けた活動への支援強化

- ・工場・ビルに対する省エネ最適化診断事業の利活用の促進
- ・省エネ・節電情報説明会等を開催

II. 国民各層の省エネルギー活動支援

- ・地域の省エネルギー活動支援
- ・省エネルギー普及のための人材育成

III. 国家試験・研修・講習事業の実施

- ・省エネ法に基づく各種資格に係る試験、研修、講習の実施

IV. エネルギー管理表彰

- ・エネルギー管理、省エネに功績のあった個人・企業に対し表彰を実施